

平成30年度電気技術者試験受験者実態調査

平成31年3月

一般財団法人 電気技術者試験センター

<はじめに>

当試験センターが実施する公益目的事業の一環として電気技術者試験を受験する方々の実態を把握することを目的に、電気主任技術者試験および電気工事士試験の受験申込に際し、アンケートへの回答を任意によりお願いしている。昨年度に引き続き平成30年度の調査結果を取りまとめたので公表する。なお、本調査では前年度との比較について説明を加えている。

<受験申込者数の状況>

平成25年度以降の受験申込者数の推移を試験種別毎に下表-1に示す。受験申込者数の詳細については、当センターホームページ「試験実施状況の推移」をご参照ください。

- ・直近3か年の総受験申込者数は平均約28.5万人であり、平成25～27年度の3か年の平均に比べ約1万人(約3.5%)増加している。
- ・試験種別では、第2種電気工事士試験の受験申込者数が増加している。

表-1 電気技術者試験受験申込者数の推移

単位[人、%]

	電験1種	電験2種	電験3種	電験計	電工1種	電工2種	電工計	総計
H25	2,199	9,315	69,128	80,642	48,593	146,597	195,190	275,832
H26	2,219	9,535	68,756	80,510	49,089	141,889	190,978	271,488
H27	2,106	9,161	63,694	74,961	50,393	152,925	203,318	278,279
3年平均	2,175	9,337	67,193	78,704	49,358	147,137	196,495	275,200
H28	2,129	9,384	66,896	78,409	50,203	152,761	202,964	281,373
H29	2,093	9,225	64,974	76,292	51,973	147,454	199,427	275,719
H30	2,099	9,438	61,941	73,478	48,824	175,416	224,240	297,718
3年平均	2,107	9,349	64,604	76,060	50,333	158,544	208,877	284,937
増加率	97	100	96	97	102	108	106	104

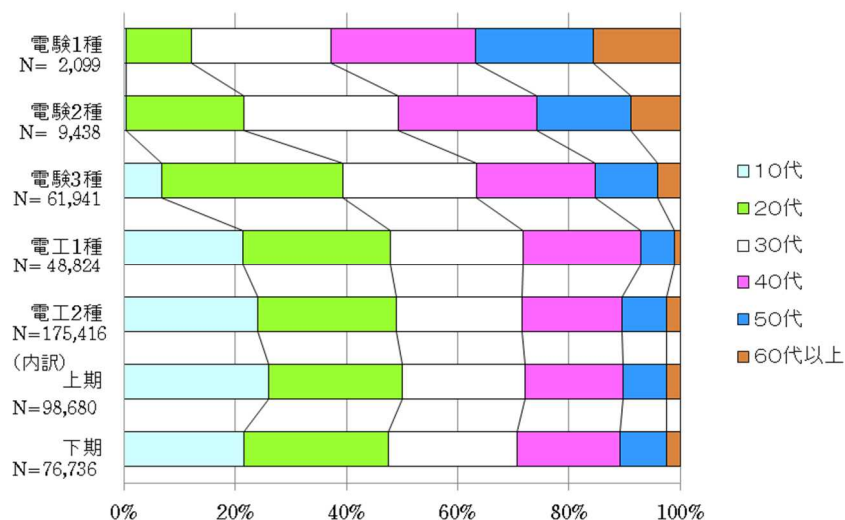
注) 電験は電気主任技術者試験、電工は電気工事士試験を示す。

<受験申込者の属性>

1. 受験申込者年代別構成

平成30年度受験申込者の年代別構成を下表-2に示す。試験種別ごとに学生を主体とした10代受験者の比率や各年代の構成比等に特徴が見られる。前年度結果との比較では、年代別構成全体として大きな変化はみられない。また、電工二種では上期と下期で10代の割合に特徴がみられる。

表-2 平成30年度受験申込者年代別構成

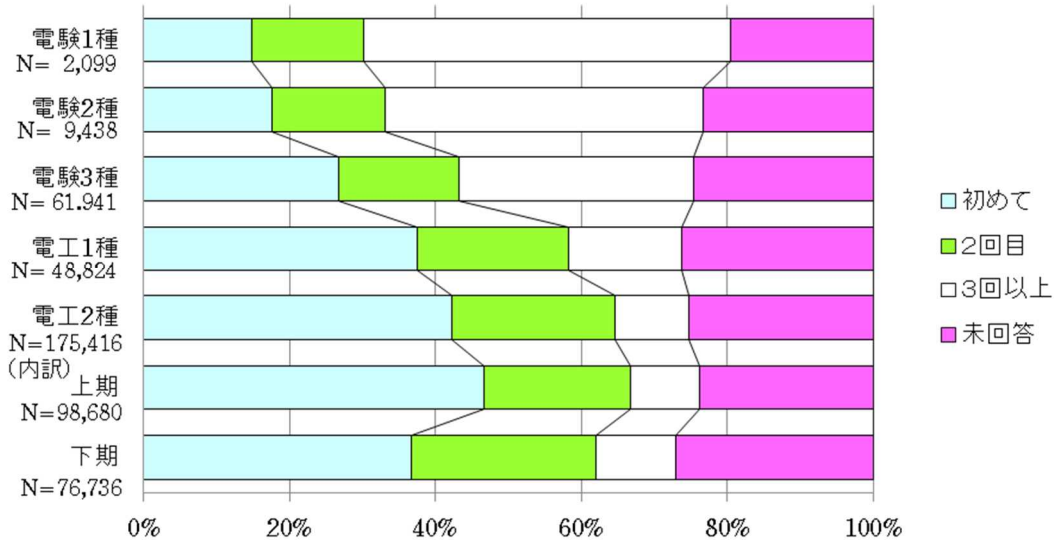


注) 年齢は平成30年4月1日時点での満年齢

2. 受験回数

平成30年度受験申込者の受験回数を、下表-3に示す。電工2種は、本年度から受験機会が上期・下期2回となったことから、前年度と比べ、「受験2回目」と回答する受験者の比率が増加した。

表-3 平成30年度受験申込者受験回数



3. 受験申込者の学生・就業者別属性

平成30年度受験申込者の電験における属性を下表-4に、電工における属性を下表-5に示す。

学生の比率は、電工2種が最も高く20%、電工1種で16%、電験3種で8%である。

また、就業者の比率は、電験1種で78%と最も高く、電験2種で75%、電験3種で67%、電工1種で58%、電工2種で52%である。前年度との比較では傾向に大きな変化はない。

表-4 平成30年度電気主任技術者試験受験申込者属性

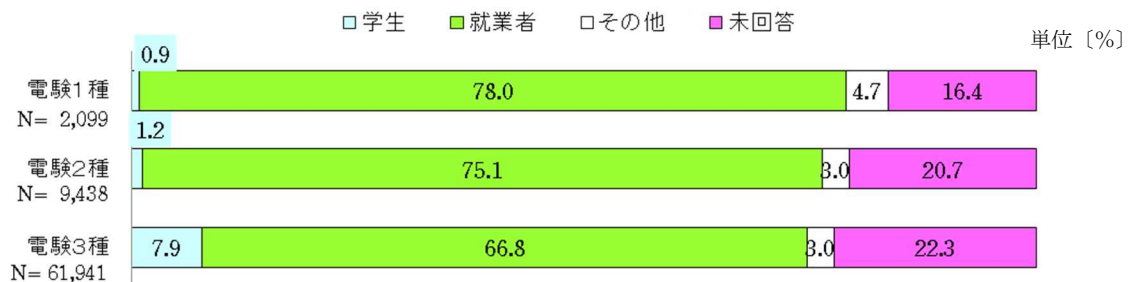
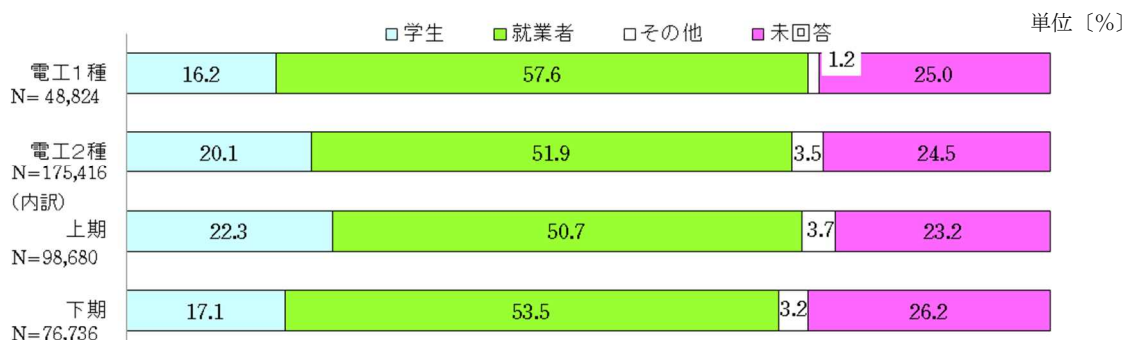


表-5 平成30年度電気工事士試験受験申込者属性



4. 就業者の勤務先

次いで、受験申込者数の半数以上を占める就業者の勤務先についての調査結果を示すが、この回答は、インターネットでの新規受験申込者のみが回答の母集団である。

近年、インターネットでの申込者の割合は年々増加し平成30年度は82.1%までに達したが、10代を中心に郵便申込の比率がまだ残るため、母集団に違いがあることに留意したうえ結果を参照ありたい。(注：巻末(参考)に、全申込者とインターネット申込者の年代別構成で比較した表を添付している。)

(1) 電気主任技術者試験受験申込者の勤務先

平成30年度電気主任技術者試験受験申込者のうち就業者の勤務先について、下表-6に示す。1種は、勤務先が「電力会社」と回答した者が最も多く、以下、「ビル管理・メンテナンス・商業施設保守会社」、「官公庁・学校」、「電気機器製造会社」、「電気工事会社」の順である。

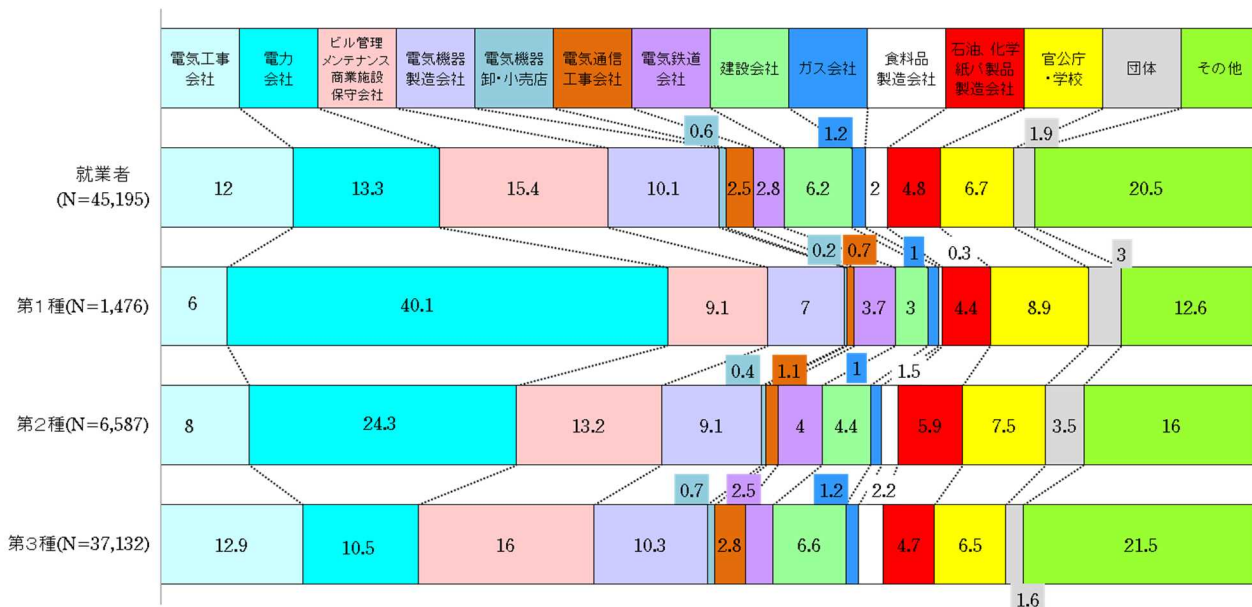
2種は勤務先が「電力会社」と回答した者が最も多く、以下、「ビル管理・メンテナンス・商業施設保守会社」、「電気機器製造会社」、「電気工事会社」、「官公庁・学校」の順である。

3種では、「ビル管理・メンテナンス・商業施設保守会社」と回答した者が最も多く、以下、「電気工事会社」、「電力会社」、「電気機器製造会社」の順である。

このように、電気主任技術者試験受験申込者の多い勤務先は、「ビル管理・メンテナンス・商業施設保守会社」、「電気工事会社」、「電力会社」、「電気機器製造会社」の4業種で、4業種に勤務する受験申込者が就業者全体に占める割合は、1種が62%と最も大きく、2種が55%、3種が50%である。

表-6 電気主任技術者試験受験申込者(就業者)の勤務先

単位 [%]



(2) 電気工事士試験受験申込者の勤務先

電気工事士試験受験申込者のうち就業者の勤務先について、下表ー7に示す。

受験申込者の勤務先は、1種、2種とも「電気工事会社」と回答した者が最も多く、以下、1種では「ビル管理・メンテナンス・商業施設保守会社」、「電気通信工事会社」、「建設会社」、「電気機器製造会社」、2種では「ビル管理・メンテナンス・商業施設保守会社」、「建設会社」、「電気通信工事会社」、「電気機器製造会社」の順である。

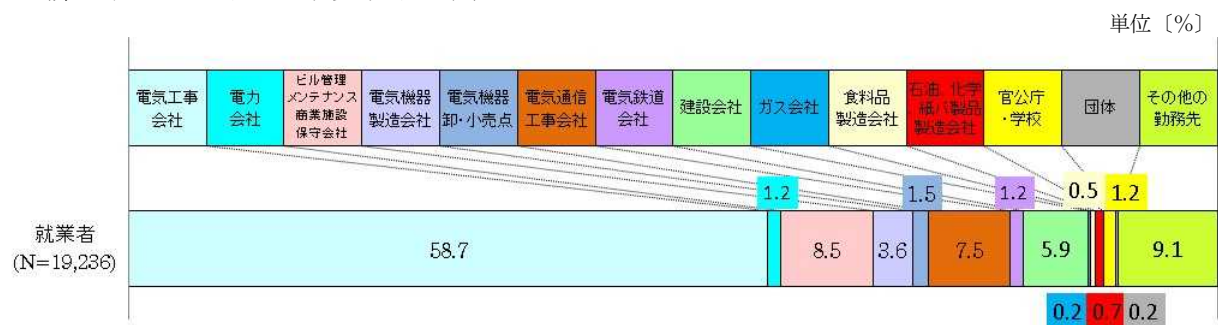
これら上位5業種に続く勤務先は、1種では、「電気機器卸・小売店」、「電気鉄道会社」、「官公庁・学校」、「電力会社」であり、2種では、「電気機器卸・小売店」、「官公庁・学校」、「ガス会社」である。

なお、1種の受験申込者は電気工事会社に勤務する者が58.7%と最も多く、上位5業種で84.2%と過半数を占めている特徴が見られる。また、2種の受験申込者は「電気工事会社」に勤務する者が21.3%と最も多いが、上位5業種で占める比率は55.7%であり、1種に比較して多くの業種に分散している特徴が見られる。

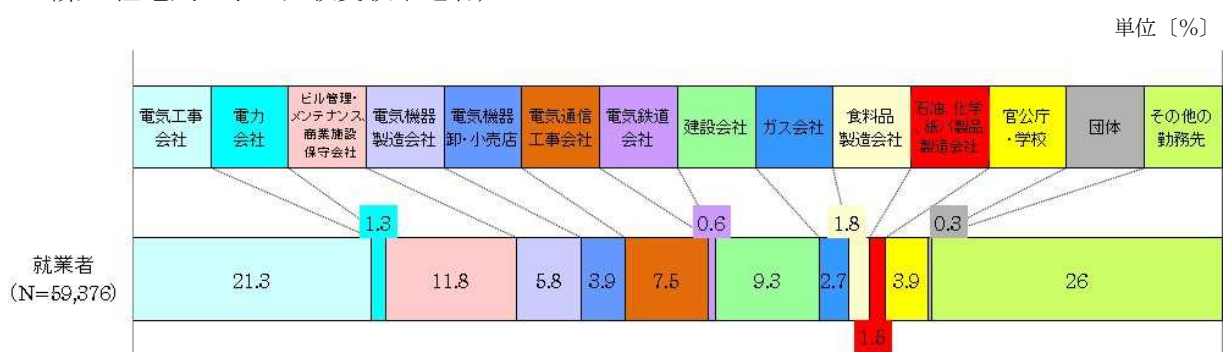
前年度との比較では傾向に大きな変化はない。

表ー7 電気工事士試験受験申込者（就業者）の勤務先

(第1種電気工事士試験受験申込者)



(第2種電気工事士試験受験申込者)



5. 学生の学科、最終学歴（学校種別）

同様に、インターネットでの申込者の在学中の学校又は最終学歴について、電気主任技術者試験受験申込者は下表－8に、電気工事士試験受験申込者は下表－9に示した。

(1) 電気主任技術者試験受験申込者は、在学者では、「大学」「高専・短大」「工業高等学校」の割合が大きく、3区分の合計で77%を占めている、卒業者では、「大学」に次いで「工業高等学校」「大学院」の順である。

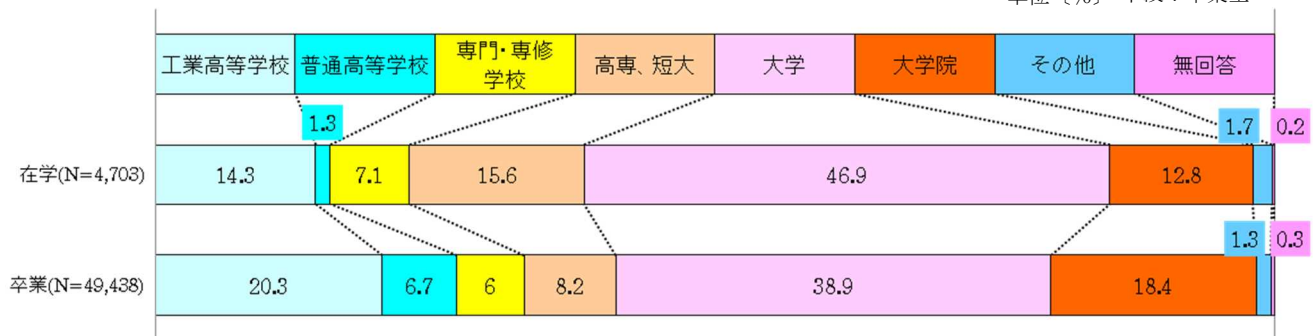
(2) 電気工事士試験受験申込者については、在学者では「工業高等学校」が最も多く、卒業者では、1種では、「工業高等学校」「大学」、2種では、「大学」「普通高等学校」の順である。

こうした学歴・学科区分等の傾向は前年度と比較して大きく変化していない。

表－8 平成30年度電気主任技術者試験受験申込者の学歴・学科区分等

上段：在学者

単位 [%] 下段：卒業生

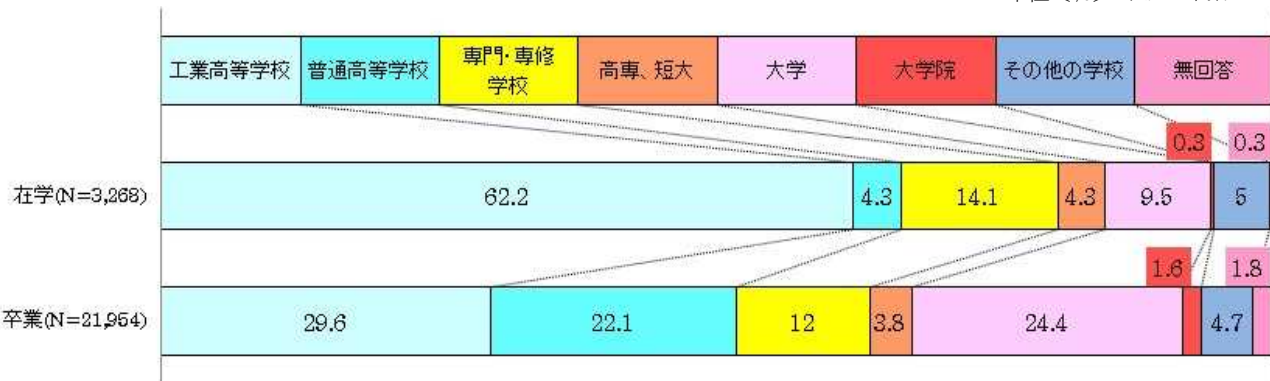


表－9 平成30年度電気工事士試験受験申込者の学歴・学科区分等

(第1種電気工事士試験受験申込者)

上段：在学者

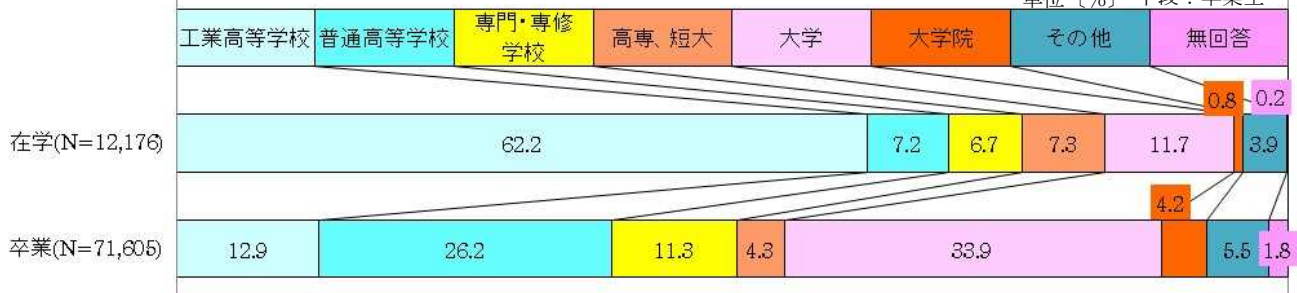
単位 [%] 下段：卒業生



(第2種電気工事士試験受験申込者)

上段：在学者

単位 [%] 下段：卒業生



<受験申込者の受験動機>

インターネットでの申込者に対しては、学生・就業者別の申込者の受験動機についても任意による回答を得ている。

1. 学生の受験動機

(1) 電気主任技術者試験

学生が電気主任技術者試験を受験する動機としては、「自分の判断で（就職を有利にするため）」、「自分の判断で（能力を試すため）」、「学校の勧め（就職を有利にするため）」のいずれかで回答した者が大半を占めており、「就職を有利にする」ことを受験の動機としている者が多い。なかでも、「自分の判断で（就職を有利にするため・能力を試すため）」を選択する者が「学校の勧め」「家族・知人の勧め」を上回っている。

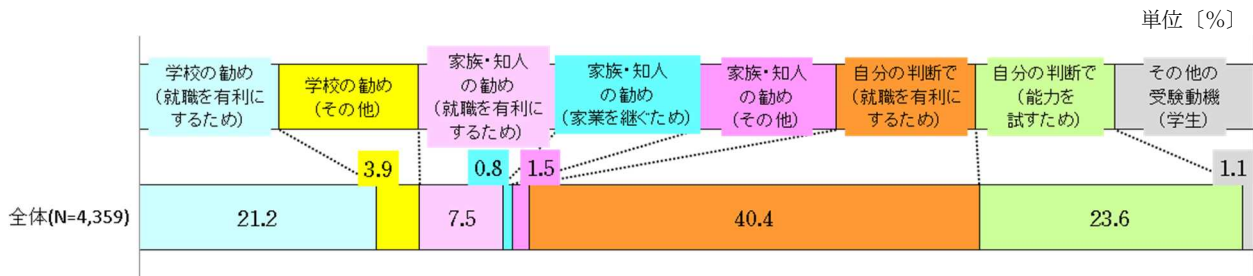
また、24%の者が「自分の判断で（能力を試すため）」と回答している。

(2) 電気工事士試験

学生が電気工事士試験を受験する動機としては、1、2種とも「学校の勧め（就職を有利にするため）」「自分の判断で（就職を有利にするため）」のいずれかで回答した者が多く、就職を有利にすることを受験の動機としている者が多い。なかでも、「学校の勧め」が最も大きな割合だが、1種では、「自分の判断で」で回答した者も37%と多い。

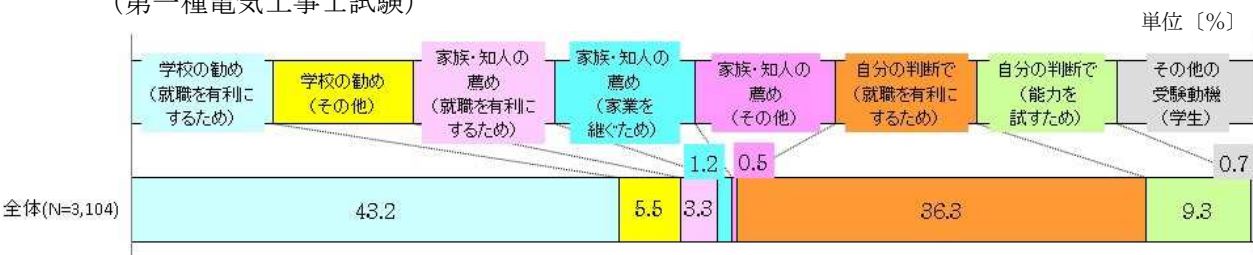
また、1種で9.3%、2種で6.3%の者が「自分の判断で（能力を試すため）」を選択している。両試験種別とも、学生の受験動機の傾向は前年度と比較して大きな変化は見られない。

表－10 電気主任技術者試験受験動機（学生）

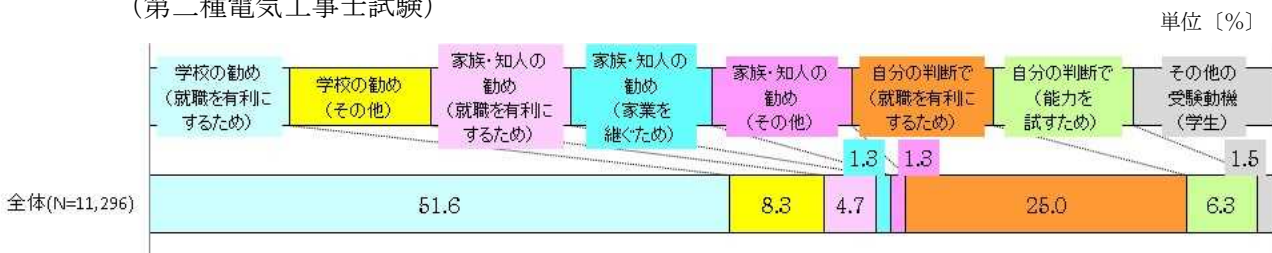


表－11 電気工事士試験受験動機（学生）

(第一種電気工事士試験)



(第二種電気工事士試験)



2. 就業者の受験動機

(1) 電気主任技術者試験

就業者が電気主任技術者試験を受験する動機としては、「資格が必要な職務に就いているため」を選択した者が35.9%と最も多いが、「昇進または給料・収入を上げるため」、「定年後の再就職に備えるため」、「勤務先で希望する職務に就くため」を選択した者の割合が、電気工事士試験に比較して大きい。また、「定年後の再就職に備えるため」を選択した者が11.6%という特徴がある。前年度と比較して大きな変化は見られない。

(2) 電気工事士試験

就業者が電気工事士試験を受験する動機としては、第1種では「資格が必要な職務に就いているため」を選択した者が70.9%と大半を占め、それに続くのは、「昇進または給料・収入を上げるため」、「勤務先で希望する職務に就くため」、「新規事業の開拓等で資格を取る必要が生じたため」である。

第2種では、「資格が必要な職務に就いているため」を選択した者が59.3%となり、それに続くのは「昇進または給料・収入を上げるため」であるが、「新規事業の開拓等で資格を取る必要が生じたため」が第1種と比較し3%増の割合を占める特徴が見られる。全体としては前年度と比較して大きな変化は見られないが、5年前と比較すると、「資格が必要な職務に就いているため」が減少し、「昇進または給料・収入を上げるため」が増加している。

表-12 電気主任技術者試験受験動機（就業者）

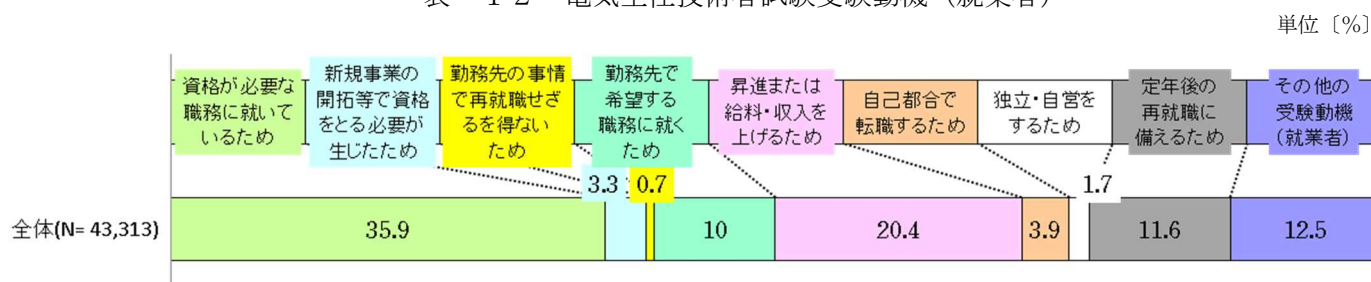
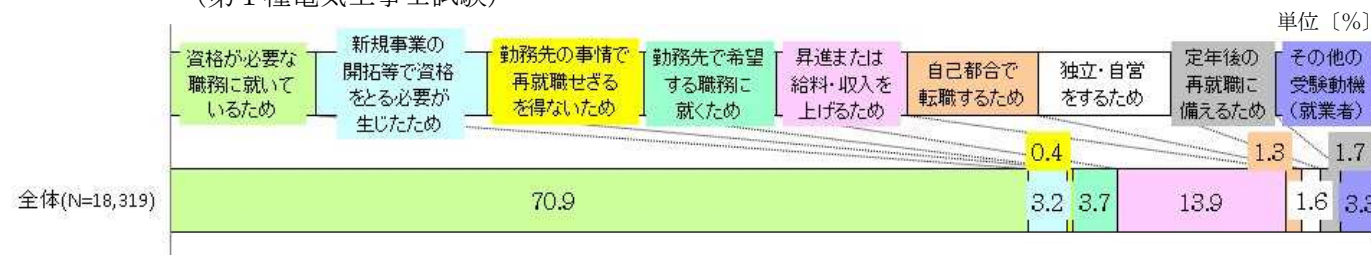


表-13 電気工事士試験受験動機（就業者）

(第1種電気工事士試験)



(第2種電気工事士試験)



<受験申込者数の増減要因等>

最後に、受験申込者の増減が大きい3試験（第3種電気主任技術者試験、第1種電気工事士試験、第2種電気工事士試験）について、筆記試験・一次試験からの受験申込者に注視し、その要因を見ていきたい。

1. 第3種電気主任技術者試験

平成30年度の電気主任技術者試験（第1種・第2種・第3種）受験申込者の合計は、前述した表-1のとおり約73千人で、平成25年度比7千人（8.8%減）減少している。

次に、第3種電気主任技術者試験受験申込者数の学生・就業者別推移を下表-14に示す。

受験申込者は、平成26年度比で「学生」が2.2千人減、「就業者」が3.2千人減となっている。就業者の内訳を見ると、「電気工事業」、「電力会社」「保安協会・ビル管理会社」「その他企業団体等」が減少しているのに対し、「官公庁・学校」で受験申込者数の増加がみられる。

また、主要な業種以外の、「その他企業・団体等」の内訳をみたのが表-15であり、過去5年の変化をみても上位を占める業種に変化はない。

表-14 第3種電気主任技術者試験受験申込者数の推移

単位〔人、%〕

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増加数	増加率%
	A				B	B-A=C	C/A
高校生	1,518	1,415	1,325	1,326	1,216	-302	-19.9
大学・短大・高専	5,005	4,159	4,050	3,738	3,213	-1,792	-35.8
その他学校	688	612	661	621	572	-116	-16.9
学生計	7,211	6,186	6,036	5,685	5,001	-2,210	-30.6
電気工事業	7,190	6,365	6,827	6,258	5,854	-1,336	-18.6
電力会社	4,109	4,023	4,327	4,262	4,045	-64	-1.6
保安協会・ビル管理会社	7,901	7,485	7,855	7,801	7,363	-538	-6.8
官公庁・学校(学生除く)	2,620	2,562	2,794	2,700	2,698	78	3.0
その他企業団体等	22,636	21,487	22,759	21,830	21,420	-1,216	-5.4
就業者計	44,456	41,922	44,562	42,851	41,380	-3,076	-6.9
その他(無職等)	2,901	2,445	2,246	1,997	1,878	-1,023	-35.3
無回答	14,188	13,141	14,052	14,441	13,808	-380	-2.7
合計	68,756	63,694	66,896	64,974	61,941	-6,689	-9.7

表-15 「その他企業団体等」内訳（第3種電験インターネット受験申込者アンケートより）

単位〔人〕

その他企業・団体等	計	電気機器製造会社	建設会社	石油、化学、紙パ製品製造会社	電気通信工事会社	電気鉄道会社	製造業・重工業（詳細不明）	食品製造会社	輸送用機械器具製造業	就業者その他
H26年度回答(注)	21,898	4,385	2,243	1,782	1,194	978	923	903	699	8,791
H27年度回答(注)	19,833	4,093	2,219	1,739	1,107	909	920	812	506	7,528
H28年度回答(注)	21,101	4,241	2,500	1,841	1,186	980	976	857	618	7,902
H29年度回答(注)	20,314	3,947	2,538	1,803	1,102	948	898	822	634	7,622
H30年度回答(注)	20,307	3,767	2,454	1,729	1,064	911	863	796	612	8,111

(注)インターネット申込者による回答

2. 第1種電気工事士試験

筆記試験からの受験申込者は、下表－16のとおりで、平成26年度比で、学生1.2千人減、就業者2千人減であり、全体としては2.8千人(6.3%減)の減少である。

表－16 第1種電気工事士試験受験申込者数の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増加数	増加率%
	A				B	B-A=C	C/A
高校生	5,787	5,545	5,633	5,352	5,482	-305	-5.3
大学・短大・高専	1,021	856	892	837	648	-373	-36.5
その他学校	1,710	1,427	1,320	1,298	1,216	-494	-28.9
学生計	8,518	7,828	7,845	7,487	7,346	-1,172	-13.8
電気工事業勤務	16,611	15,858	16,393	16,250	15,240	-1,371	-8.3
電力会社勤務	229	267	288	276	239	10	4.4
ビル管理会社勤務	2,138	2,009	1,983	1,997	1,841	-297	-13.9
その他勤務	6,998	7,018	7,230	6,774	6,618	-380	-5.4
就業者計	25,976	25,152	25,894	25,297	23,938	-2,038	-7.8
その他(無職等)	1,038	680	645	597	512	-526	-50.7
無回答	9,594	9,951	10,670	10,998	10,492	898	9.4
合計	45,126	43,611	45,054	44,379	42,288	-2,838	-6.3

表－17 「その他勤務」の内訳(第1種電気インターネット受験申込者アンケートより)

その他企業・団体等	計	単位〔人〕								
		電気通信工事会社	建設会社	電気機器製造会社	電気機器卸・小売店	電気鉄道会社	官公庁・学校	製造業・重工業(詳細不明)	石油、化学、紙パ製品製造会社	就業者その他
平成26年回答数(注)	6,436	1,313	929	813	293	312	320	178	152	2,126
平成27年回答数(注)	6,201	1,521	978	749	290	285	268	138	153	1,819
平成28年回答数(注)	6,491	1,492	1,160	802	312	293	282	157	136	1,857
平成29年回答数(注)	6,168	1,429	1,117	709	303	290	267	167	146	1,740
平成30年回答数(注)	6,072	1,437	1,130	691	296	227	239	167	137	1,748

(注)インターネット申込者による回答

3. 第2種電気工事士試験

筆記試験からの受験申込者は、下表－18のとおりで、平成26年度比で、学生2.1千人増、就業者9.8千人増であり、全体としては19.9千人(16.4%増)増加であり、要因としては、本年度から受験機会が上期・下期2回となったことが考えられる。

学生では高校生の受験申込者数が増加した。

就業者では主要業務3業種のうちビル管理会社・電気工事業の受験申込者数が増加し、電力会社の受験申込者数は若干減少している。

また、主要な業種以外の、「その他企業・団体等」の内訳を前年と比較すると、「建設会社」、「官公庁・学校」の申込者数の伸びが大きい。

表－18 第2種電気工事士試験受験申込者数の推移

単位〔人、％〕

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増加数	増加率％
	A				B	B-A=C	C/A
高校生	23,572	23,791	23,087	22,561	25,543	1,971	8.4
大学・短大・高専	2,966	3,376	3,236	2,937	2,967	1	0.0
その他学校	2,029	2,250	2,087	1,957	2,206	177	8.7
学生計	28,567	29,417	28,410	27,455	30,716	2,149	7.5
電気工事業勤務	16,052	17,543	16,183	15,161	17,274	1,222	7.6
電力会社勤務	919	991	882	926	856	-63	-6.9
ビル管理会社勤務	6,316	6,903	6,792	6,936	7,559	1,243	19.7
その他勤務	38,323	42,683	41,935	41,125	45,709	7,386	19.3
就業者計	61,610	68,120	65,792	64,148	71,398	9,788	15.9
その他(無職等)	5,382	5,446	5,231	4,949	5,265	-117	-2.2
無回答	25,746	30,926	30,795	30,577	33,836	8,090	31.4
合計	121,305	133,909	130,228	127,129	141,215	19,910	16.4

表－19 「その他勤務」の内訳（第2種電気インターネット受験申込者アンケートより）

単位〔人〕

その他企業・団体等	計	電気通 信工事 会社	建設会 社	電気機 器製造 会社	電気機 器卸・小 売店	官公庁・ 学校	ガス会 社	製造業・ 重工業 (詳細不 明)	機械等 修理業	就業者 その他
平成26年回答数(注)	31,457	4,564	3,792	2,953	2,214	1,652	1,300	742	1,000	13,240
平成27年回答数(注)	34,682	5,674	4,425	3,223	2,357	1,808	1,846	925	700	13,724
平成28年回答数(注)	34,822	5,212	4,550	3,193	2,326	1,913	1,675	956	862	14,135
平成29年回答数(注)	34,410	4,517	4,533	3,210	2,163	1,841	1,467	1,181	877	14,621
平成30年回答数(注)	38,534	4,468	5,504	3,457	2,309	2,287	1,614	1,141	931	16,823

(参考)

調査に用いているアンケートの母集団について

本調査は、受験申込みを行った方から任意でご回答いただいたアンケートの結果をもとに集計している。

また、調査項目中、職業、受験動機等に関するご回答は、インターネットにて受験申し込みをされた方々にのみお願いしている部分がある。

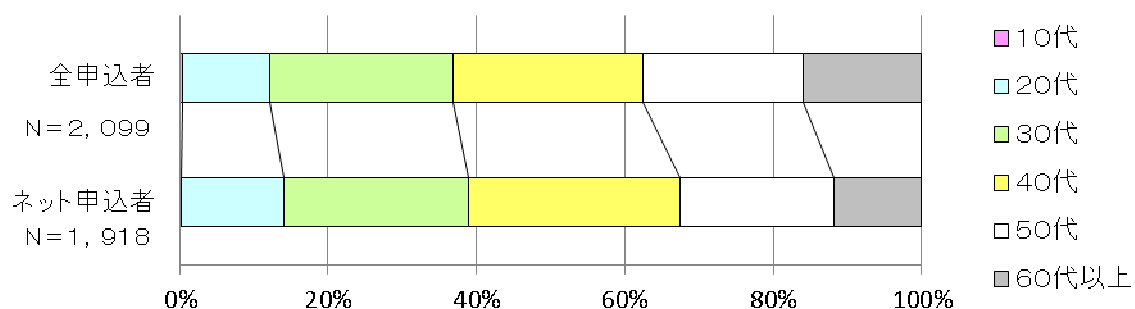
このため、調査結果においては、インターネット申込みに際しご回答いただいた結果をもとに集計した部分については、その旨注記している。

参考までに、各試験種別の平成30年度集計にあたっての母集団の年代別構成を以下に示す。

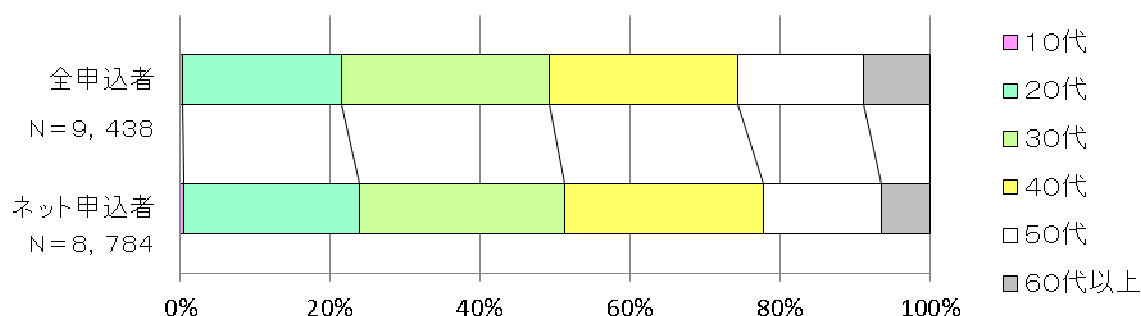
なお、本年度の全申込者に占めるインターネット受験申込者の割合は全体の82.1%になっている。年代別構成については、平成29年度と比較し変化はない。

1. 電気主任技術者試験

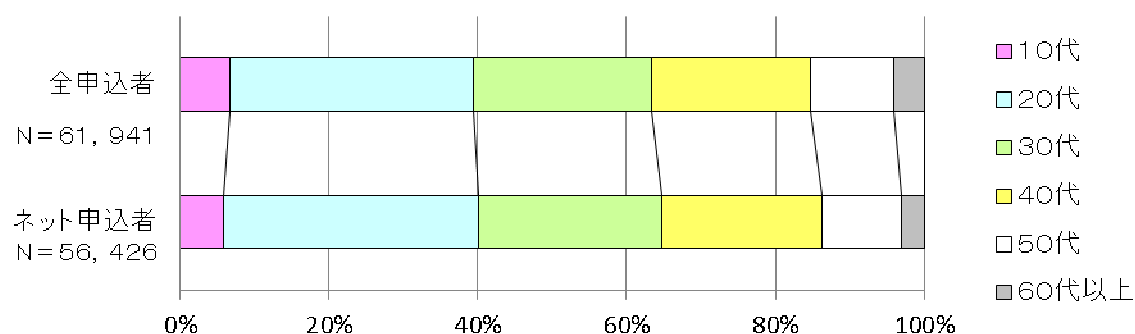
電験1種:H30年度年代別申込者構成



電験2種:H30年度年代別申込者構成

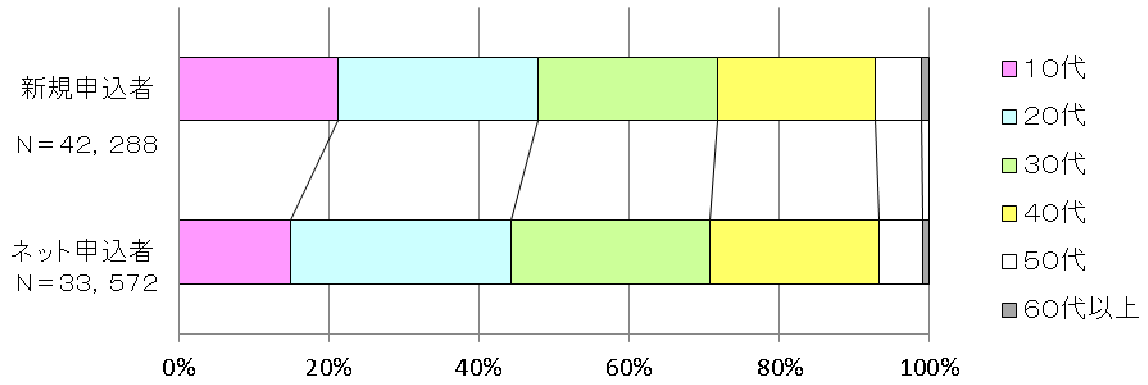


電験3種:H30年度年代別申込者構成



2. 電気工事士試験

電工1種:H30年度年代別申込者構成



電工2種:H30年度年代別申込者構成

